

■ 編集後記 ■

ヒトが進化して二足歩行に至り、足は全体重を支え、かつ大地と接する唯一の部分となった。進化の過程で、この用途に適応して足の形態・機能も徐々に変化してきたに違いない。種々の動物をみると、その移動様式や生息状態により、足の形態・機能もそれぞれのニーズに適したものになっている。

福原氏によれば、人間が履物を履くようになったのは紀元 2000 年ころのこと、それも、履いたのはエジプトの王や貴族だけで装飾や権威を表すものであったという。その後履物とはいえ、国の文化や風土そして用途などにより、大きく変遷してきている。

中学生のころから陸上競技に熱中していた私にとって、いま思えば不細工なスパイクシューズであったが、それを買ってもらえたときの喜びはひとしおで、宝物のようにたいせつにした記憶がある。そして理学療法士になってからは、患者さんの履物(装具類を含め)に必然的に関心を払うようになり、他人の履物をもたいせつにするようになった。

日本で洋式の靴を履くようになってから、それほど長くはない。つい最近、日本靴医学会が発足したが、日本ではこれまで、足の機能や健康を配慮した科学的な靴の研究は遅れていたと思われる。先



進の一例として、西ドイツでは、全国に二千人いる整形外科靴マイスター(腕の良い職人)が、処方に応じて足の患者に合った靴の作成、または既成靴の改良をしたものについては保険支払いになっている。

他人の脚を引っぱるのではなく、足を整えるのが商売であるわれわれにとって、今月号の特集を『履物』に関連した、有意義な論文で満たすことができたことを喜んでいる。

その他、短報として、RA に関したもので福迫氏他、フィードバックに関したもので武政氏他、そして極低温療法に関したもので濱出氏他の論文を掲載することができた。

じっくり読んでいただきたい。

(奈良 勲)

● 編集顧問 ●

天 児 民 和
九州労災病院名誉院長

五 味 重 春
東京都立医療技術短期大学
学長

津 山 直 一
国立身体障害者リハビリテ
ーションセンター総長

横 山 巖
七沢リハビリテーション
病院脳血管センター院長
(五十音順、以下同じ)

● 編集委員 ●

安 藤 徳 彦
神奈川県総合リハビリテ
ーションセンター

上 田 敏
東京大学リハビリテ
ーション部

鶴 見 隆 正
高知医科大学附属病院

奈 良 勲
金沢大学医療技術短期大学部

福 屋 靖 子
筑波大学

松 村 秩
東京都立医療技術短期大学

吉 尾 雅 春
協和会病院

● 編集同人 ●

伊 藤 日出男

今 川 忠 男

宇都宮 初 夫

大喜多 潤

大 田 近 雄

大 峯 三 郎

金 子 誠 喜

菊 地 延 子

木 山 喬 博

工 藤 俊 輔

佐々木 伸 一

高 田 京 子

高 橋 正 明

田 口 順 子

武 富 由 雄

寺 山 久美子

富 岡 詔 子

橋 元 隆

半 田 健 壽

藤 沢 しげ子

前 田 哲 男

牧 田 光 代

松 沢 博

丸 山 仁 司

宮 本 省 三

矢 谷 令 子

山 下 隆 昭

米 田 睦 男

理学療法ジャーナル

(第 24 巻 第 2 号)

1990 年 2 月 15 日発行(毎月 1 回 15 日発行)

1 部定価 1,391 円(本体 1,350 円)

(配送料 61 円)

年ぎめ予約購読料 15,960 円
(本体 15,495 円)
(送料弊社負担)

発 行 株式会社 医学書院

代 表 者 金原 優

〒113-91 東京都文京区本郷 5-24-3

電話 社内案内(03)817-5600

本誌編集室直通(03)817-5703

(担当:渡邊・細田)

販売部直通(03)817-5659・5660

広告室直通(03)817-5696

ファクシミリ(03)815-7802

振替口座 東京 7-96693 番

印刷所 三報社印刷(株) 電話(03)637-0005

広告申込所 (株)医薬広告 電話(03)814-1971

Published by IGAKU-SHOIN Ltd. 5-24-3 Hongo, Bunkyo-ku, Tokyo © 1990, Printed in Japan

本誌の内容を無断で複写・複製・転載すると、著作権・出版権の侵害となることがありますので御注意ください。

訂正とお詫び

- ・ 136 ページ編集後記中、左段上から 10 行目「紀元 2000 年」→「紀元前 2000 年」.

以上、訂正しお詫び申し上げます.

『理学療法ジャーナル』編集室